

第3回 福山市景観計画検討懇談会

これまでの経緯と今後の取組について

福山市景観計画策定におけるこれまでの経緯と今後の取組

平成20年度

平成20年度の成果

1. 福山市の景観の現況整理

- ①基礎調査
(上位計画、取組整理)
- ②市民アンケートの実施
- ③景観要素の抽出
(景観資源把握)

2. 景観形成基本方針等の検討

- 景観形成における目標、
方針の検討

- 景観法と景観計画に
対する認識の共有
- これまでの取り組みや
景観資源の把握
- 市民意向の把握

■ 第1回懇談会 2009年(平成21年) 2月13日

- 景観計画の策定について
福山市の景観の現況/これまでの取組と課題/景観法・景観
計画の概要/景観計画策定の必要性/計画策定の体制とスケ
ジュール

- 市民アンケート調査の実施について

■ 市民アンケート実施 2009年(平成21年) 3月

- 2009年3月/3,000人を抽出し郵送発送, 郵送回収

■ 第2回懇談会 2009年(平成21年) 3月26日

- 景観形成の目標と方針について

福山市景観計画策定におけるこれまでの経緯と今後の取組

平成21年度

3. 景観計画（素案）の作成

- ①景観計画区域の設定
 - 全市域を想定し景観計画区域を検討
- ②地域別景観形成の方針検討
 - 地域ごとの特性への配慮
 - 景観重点地区の抽出
- ③景観形成のための行為の制限の検討
 - 建築物の建築，工作物の建設等の届出範囲の検討
 - その他景観形成において影響を及ぼす行為の届出範囲の検討
- ④景観重要建造物及び景観重要樹木の指定に関する方針の検討
 - 景観重要建造物の指定方針
 - 景観重要樹木の指定方針
- ⑤その他必要事項の検討
 - 屋外広告物の制限についての検討

平成21年度の目標

●景観計画（素案）の作成

景観計画は

共有すべき視 点

- 大切にすべき福山市の景観（景観特性）と
- その形成に向けた考え方（理念・目標）を整理し
- それを実現するための方針（基本方針）を示し、
- そのために必要となる具体的なルールを定め、どのように運用していくか（行為の制限）を定める

計画である

主なスケジュール

■第3回 懇談会
2009年
8月10日

■第4回 懇談会
2009年
11月頃（予定）

■第5回 懇談会
2010年
2月頃（予定）

福山市景観計画（素案）の作成

平成21年度議論の視点

今回の視 点

- 大切にすべき福山市の景観とは（福山らしい魅力的な景観とは）
- 福山市の景観形成を進めていく上での課題とは（福山市景観計画の骨子）
- 福山市の景観形成に向けた考え方
- 福山市の景観形成を実現するための方針
- 景観形成のために必要となる具体的なルール（福山市の景観形成の推進）
- 景観計画を基にした福山市の景観形成を進める上での留意点
- 景観計画（素案）とりまとめ

平成22年度

4. 景観条例（素案）の作成

- ①景観条例（素案）の検討
- ②景観重点地区の検討
- ③景観啓発事業の実施

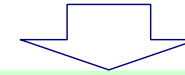
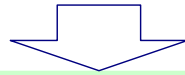
平成22年度の目標

- 景観形成の実現化に向けた取り組みの検討
- 景観条例，景観形成へ向けた実現化方策検討

景観形成の基本的な視点

①[景観形成の根底をなす視点]

- まちづくりを実現するための景観づくり

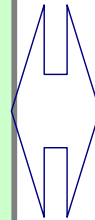


②[景観形成の目標, 方針の決定に関する視点]

- 多様な景観資源が輝く、福山らしい魅力的な景観の発見と育成
- 自然や歴史と人々の営みが調和した景観づくり

③[景観形成実現化の方策に関する視点]

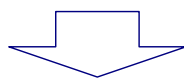
- 住民, 事業者, 行政の協働で取り組む
- 景観づくりを総合的・体系的に取り組む



景観形成の理念

[景観形成の根底をなす視点]

① まちづくりを実現するための景観づくり



[総合計画 将来都市像]

にぎわいしあわせ あふれる躍動都市
～ばらのまち 福山～

[都市マスタープラン]

- ・安心・安全で快適な暮らし
- ・中国・四国地方の拠点都市としての
拠点性と求心性

【景観づくりの理念】

住人と来訪者の両方が、
潤いや楽しみ、喜びを感じられるような

笑顔あふれる 景観まちづくり

景観づくりの目標

【景観づくりの理念】

住人と来訪者の両方が、潤いや楽しみ、喜びを感じられるような

笑顔あふれる 景観まちづくり

[大目標]

景観から感じる、
“多様な魅力に
あふれた
福山づくり”

[小目標1]

◆「まち」の潤いやにぎわい、活力を感じる景観づくり

[小目標2]

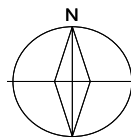
◆貴重な歴史・文化を次世代に引き継ぐ景観づくり

[小目標3]

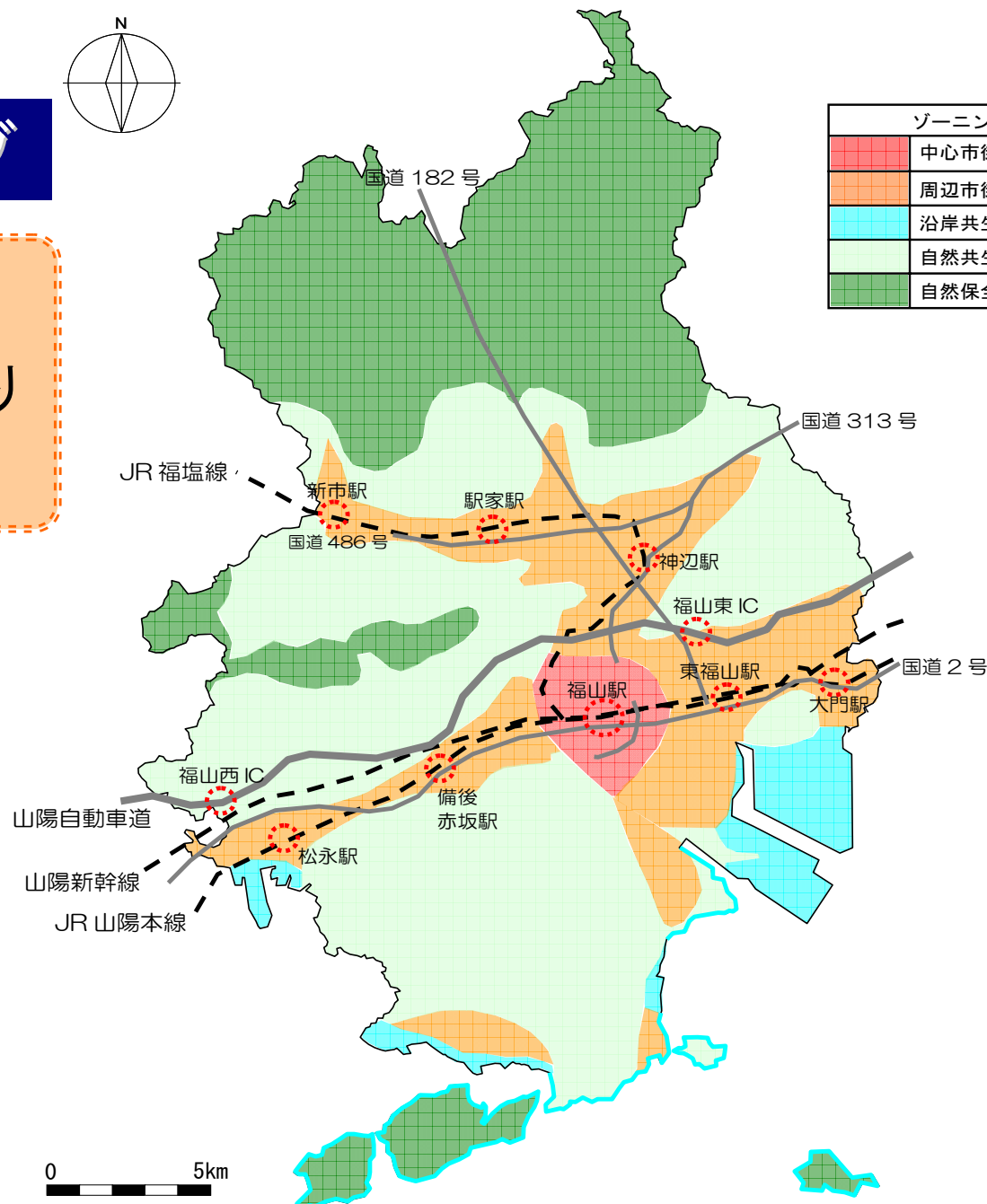
◆多様な自然を身近に感じられる景観づくり

景観まちづくりのゾーニング

・地形や土地利用の特性などから、市域をめざすべきまちづくりの5類型(ゾーン)で区分



ゾーニング	
	中心市街地ゾーン
	周辺市街地ゾーン
	沿岸共生ゾーン
	自然共生ゾーン
	自然保全ゾーン



【ゾーン毎のめざすまちづくりの姿】

中心市街地ゾーン

福山駅を中心とする市街地であり，備後の中核都市にふさわしい風格とにぎわい，楽しさが感じられる都市づくりを行っていくゾーン



周辺市街地ゾーン

中心市街地ゾーンの周辺に住宅地などが広がる市街地であり，地域の特性に応じた生活機能の充実や公共交通の利便性の向上などにより，ゆとりあるまちづくりを進めていくゾーン



【ゾーン毎のめざすまちづくりの姿】

沿岸共生ゾーン

本市産業の中心的役割を担っており、今後とも、ゾーン内や周辺の水産業や観光の拠点、住宅市街地の環境との調和に配慮した産業拠点の形成を図っていくゾーン



自然共生ゾーン

市街地を取り囲む丘陵や農地は、治水・治山機能を有し、都市に潤いを与える重要な地域資源であり、今後とも市街化の抑制を前提に、計画的な保全・整備を行っていくゾーン



【ゾーン毎のめざすまちづくりの姿】

自然保全ゾーン

北部山間地域や島しょ部は，都市的土地利用が見込まれない都市計画区域外であり，今後も優れた自然環境の保全を前提に，レクリエーション環境の整備を中心とした地域形成を図っていくゾーン

